

編集後記

未曾有の10連休のなか祝賀ムードで時代が改まってひと月、ようやく日常が戻ってきた気がします。日々のニュースには米中経済摩擦、国内景気減速、相次ぐ危険運転事故など心配な事柄も多々ありますが、目の前の職務に集中する事を考えて乗り切りたいものです。

誌上ギャラリーは湯之浦のハナショウブ畑の様を平田先生にお寄せいただきました。花の様々な紫色と細い葉の鮮やかな緑が水無月らしい爽やかさですね。

論説と話題は医師会病院の現状です。医療スタッフの人員不足・低稼働時期への対策と今後の展望について院長の園田先生にお教えいただきました。各科医師の確保や病床数削減、病棟再編など「小さな・身動きのとりやすい」医師会病院を目指す施策だそうです。

医療トピックスは口腔カンジダ症の治療薬5剤の比較紹介です。剤型や適応症、用法用量が異なりますので症例に適した薬剤をお選びください。

学術には脊髄炎と多発神経根炎を併発した抗中性糖脂質抗体陽性の一例を医師会病院脳神経内科からご報告いただきました。稀な抗体で、治療抵抗性との関連も考えられるとのこと。外科医会春季例会からは興味ある症例というテーマで十二指腸に穿破した腹部大動脈瘤を適切な手術処置により救命し得た2例と、術前鑑別診断が困難であった肝血管筋脂肪腫の症例報告をお寄せいただきました。

医師会病院だよりは緩和ケア科からこの5月に分離開設となったペインクリニック内科の紹介です。急性期病院や在宅医、緩和ケアとの治療連携が重要な部門ですので、引き続き患者ご紹介の程よろしくお願い致します。

随筆・その他はお馴染み古庄先生の「切手が語る医学」からで、ブラジル・ウルグ

アイ・カナダ・スロベニア・パナマの医療施設を表した切手を興味深く拝見しました。武元先生の連載は出産後の倦怠感に悩むビタミンB₁₂低下疑い症例についてです。また、今村総合病院の林先生から「総合診療とは何か」という概説をいただいています。地域かかりつけ医、専門性と幅広い知識技能との両立、地域包括ケアシステムとの関連など今後ますます重要視される分野だと思います（次号に後編を掲載予定）。リレー随筆は今春垂水へ異動された堂園先生から一番の趣味に関わるお話「ドライブに魅せられて」です。おすすめの絶景スポットも数箇所ご紹介いただきました。先生方、ご寄稿ありがとうございます。

各種部会だよりは整形外科医会総会、外科医会春季例会、在宅医会事例検討会のご報告です。一部の詳しい内容は学術欄にご覧いただけますので、合わせてお読みください。

各種報告は理事会概要、小児生活習慣病対策委員会報告、第44回本会親善ゴルフ大会報告と各組優勝者コメントおよび成績一覧、会員施設職員研修会報告です。平成30年1月医師会病院内に開設された市在宅医療・介護連携支援センターについても1年間の活動内容をご報告いただきました。

今号にも附属施設の実績、および新入会員紹介等当会の動きが掲載されています。

情景が浮かぶ投句とひねった選評が伝統の鹿市医郷壇ですが、新規の投稿者を絶賛大募集中とのこと。我と思わん方々、奮って自信作をお寄せください。

来年の東京五輪に続き、2025年には大阪で55年ぶりに万国博覧会が開催される予定です。前回のテーマ「人類の進歩と調和」を振り返ると進歩については実現していますが、調和のほうはさて如何でしょうか？新元号に込められた祈りが世界規模で具現する日の到来を願ってやみません。

（編集委員 関根さおり）